

中期経営計画（2024～2026年度）骨子

○経営理念

協同組織金融機関である“信用組合”の基本理念に基づき、「証券業界の発展に資する信用組合」を目指す。

○経営方針

健全経営に徹するとともに、証券業界の金融機関として業界のニーズに応え、業界が必要とする業務を遂行するため、組織一丸となった営業活動の展開と、それを可能にする強固で付加価値の高い組織力を構築する。

○基本戦略

- (1)顧客のニーズに応えることにより証券界の発展に貢献し、その結果としての当信組の事業継続・役割増大を目指す。
- (2)社会の公器としての信用組合の役割を踏まえ、透明で高い説明力を備えた業務・組織運営に徹する。
- (3)金利正常化が進む中で、ビジネスモデルやALMに与える影響等を注視しつつ、柔軟かつ機敏に対応する。
- (4)2025年5月に迎える70周年を通過点として、さらなる成長と発展を遂げるべく、「営業基盤の拡充」や「スタートアップ企業へのサポート」など将来を見据えた施策にも取り組む。
- (5)金融機関にとって最大の経営資源は人材であるとの認識のもと、①職員一人ひとりがワークライフバランスを保ち仕事と私生活の両立を図れるような職場環境の維持向上、②良質な人材確保への前向きな取り組み。

1. 業務運営

(1)貸出業務

①証券会社向け融資、②証券担保ローン・ストックオプションローン、③役職員向け各種ローンへのさらなる取り組み。

(2)預金業務

可能な限り預入ニーズに応える。預金金利について市中金利情勢や系統預金金利の水準などをきめ細かくウォッチし柔軟に対応する。

(3)有価証券運用業務

マーケット環境等の変化を注視し、運用商品の多様化も視野に入れ、丁寧かつきめ細かな商品・銘柄選定に努め、運用収益の確保を目指す。

(4)営業基盤拡充に向けた取り組み

変貌する証券界および同関連業界の流れに立ち遅れることなく貢献できるよう、常に新しい目で業務内容を見直し取引先の裾野拡大に繋げる。FinGATEとの連携によるスタートアップ企業へのサポート等に身の丈に合わせ適切に取り組む。

(5)自己資本の充実

貸出余力を向上させ証券向け融資の拡大に繋げるため出資金増額も検討。

2. 組織運営

(1)付加価値の高い組織運営

①職員一人ひとりが持てる能力を最大限発揮し、自己実現も実感できるような働き甲斐のある職場環境を確保する。

②質の高い人材の確保、少数精鋭による横断的な組織運営。

③高度な情報共有による付加価値の高い営業活動。

(2)存在感を高める

「身近で頼れる金融機関」として存在感を高め、実際の利用拡充に繋がるような広報活動、地域活動にさらに工夫して取り組む。

(3)リスク管理態勢の向上

当信組の業務特性を踏まえ、リスクの所在を十分認識し、リスクとリターンのバランスのとれたリスク管理体制の構築に努める。

(4)コンプライアンス、ガバナンス態勢の強化

①正確な会議録や面談録の作成に努め、外部や後世に向け十分な説明責任を果たし得るよう万全を期す。

②監事と内部検査部門（検査役）との連携強化。

③マネロン関係について、経営陣の主導的な関与の下、実効性のある取り組みを継続する。